



明るく明日を拓く着実な前進

小野町議会議長 大和田 昭

新年あけましておめでとうございます。

平成23年の年頭にあたり、小野町議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆さまには、輝かしい希望に満ちた新春をお健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。議会運営につきましては、常日ごろからご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年は議員任期が満了4年目を迎える節目の年であります。その間、一昨年秋には自民党から民主党への政権交代があり、国の経済浮揚対策に期待したところではありますが、昨年の我が国政治を振り返りますと、国の事業仕分けによる財源捻出も不調に終わり、海外景気の下振れや為替レートの変動による円高などにより、設備投資や雇用状況などに改善が見られず、日本経済は依然として厳しい状況が続いております。

そのような中、地方分権改革で掲げられた一括交付金等の実現に期待しておりましたが、急速に進む少子高齢社会と社会保障制度の問題、さらには、混迷する時代を反映するかのごとく、東シナ海尖閣諸島の領土問題や沖縄米軍基地の外交防衛問題など、国外においては地球環境問題の国際間合意やTPPなど地域間経済連携協定への対応など、政治課題が山積しており、一括交付金等の実施は地方自治体運営に大きな影響を及ぼす財源であり、早期の実現を望むものであります。これらの諸問題はどれも重要な課題であり早急な国の対応が求められるものであります。

このような中、小野町では町の将来像を「きらめく人と自然 あったか小野町」と掲げ平成21年度からスタートした「第四次小野町振興計画」のまちづくり各種施策を積極的に進めております。ふるさとの環境を育んでいる、農地や里山を守り育て、豊かな地域資源を次世代に引き継ぐことは重要な役割であり、この美しい国土を保全し地球環境を守ることは、現在を生きる私たちの使命と感じております。

また、人口を増加させ町の活性化を目指すための二地域居住事業の推進、国際的な情報化推進のための光ファイバ網や地上デジタル放送網の整備推進、未来を担う児童・生徒のための小・中学校教育環境の整備も重要な施策と考えております。

このほか、町政の取り組み課題も、少子高齢化策をはじめとして、景気浮揚策、企業誘致をはじめとした雇用対策、健全な行政運営のための行財政改革、保健・福祉・医療の連携、生活道路整備や右支夏井川河川改修など社会資本の整備など、多岐にわたっております。

小野町議会といたしましても、このような課題を見据え、昨年6月定例会で設置した議会改革特別委員会において、町民の皆さまの負託に確実に応えるため、議会改革の活発な議論を展開しております。町議会といたしましては、議会の果たすべき役割と責任を自覚し、町民の皆さまのご期待に添うよう、決意を新たにいたしておるところであります。

ここに、町民の皆さまのご多幸をお祈りするとともに、本年も相変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。